

意見書

☆議員提出

☆議員提出議案はすべて町ホームページに掲載しています。



若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

可決

不安や葛藤、憂鬱な気分を和らげたいなど、現実逃避や精神的苦痛の緩和のために、若者がオーバードーズに陥るケースが多く、実際、市販薬を過剰に摂取することで、疲労感や不快感が一時的に解消される場合があり、同じ効果を期待してより過剰な摂取を繰り返すことで、肝機能障害、重篤な意識障害や呼吸不全などを引き起こしたり、心肺停止で死亡する事例も発生している。若者の居場所づくり等の施策を推進すること。

地域公共交通の充実発展を図り、利用者の交通権を保障するための意見書

可決

- 一、国として運転手確保にあらゆる施策を講じること。バスやタクシー運転手の賃金引上げが実施されるよう指導援助すること。
- 一、地域公共交通維持確保改善事業をはじめ国の負担を大幅に拡充すること。
- 一、交通政策基本法は、国及び自治体の責務として財政の確立や労働環境の改善を明記し、交通権を保障するよう改正すること。

金権腐敗政治を一掃することを求める意見書

否決

- 1、政治資金パーティー券購入を含めて、企業・団体献金を全面的に禁止すること。
- 2、裏金作りに関与した政治家全員の証人喚問を行なうこと。

町政に関する

一般質問の主題

村上 真由美

- こどもホスピスへの支援
- HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者に対する周知
- 乳幼児健診に5歳児健診の追加支援
- ヤングケアラー調査と普及啓発

川上 力

- 災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」への参加(トイレトレーラーの導入)
- ゼロカーボンシティへの取り組み(EV車及びカーシェアリングの導入)
- 今後の松伏町土地開発公社

砂川 清時

- 移動スーパーの成果と今後の展開
- 東埼玉道路・浦和野田線開通に伴う周辺町道の整備
- 水道管やガス管理設工事に伴う道路の整備状況

増田 秀雄

- 投票率向上対策
- 立地適正化計画
- 小中学校の樹木管理
- ジュニア向けスポーツ教室の開催

田口 義博

- 新聞の持つ力を学習に
- 人口減少に対応した交通のまちづくり

松岡 高志

- 町の地域防災力の向上を
- 全国及び埼玉県の学力・学習状況調査結果の課題解決の実施状況は

長谷川 真也

- これからの町の運営
- 少子化に伴うこれからの学校運営

高野 祐大

- 河川の活用によるウォータースポーツによる地域振興
- 「まつぶし町」への町名変更による外部からの認知度向上と町民のシビックプライドの醸成
- 東埼玉道路の自動運転によるBRT導入における成功のカギと課題
- 人口流出を防ぐための若年層の需要に応える公共交通の利便性向上

吉田 俊一

- 野田橋付近の渋滞と金杉・天神団地内に入り込む自動車対策
- 子育てを応援する取組みとして、保育事業の充実を

平野 千穂

- 不登校児を含む、子どもたちの居場所づくりを
- 手話言語条例の制定を
- 災害備蓄品の抜本的な拡充を

10人の議員が町政を問う

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます



むら かみ ま ゆ み
村上 真由美 (公明党)

Q ヤングケアラー体験者の講演を

A 小・中学校と情報共有を図り検討

問 ヤングケアラーの事を知ってもらう事が大切だ。実体験を聞くことで理解が深まると思う。小・中学校でもヤングケアラー体験者の講演を行ったらどうか。

答 **教育総務課長** 今後、近隣市町の取組等の情報を収集し、各校と情報共有を図りながら検討する。

問 こどもホスピスは、命に関わる重い病気で終末期を迎えた子どもと家族が遊んだり学んだりしながら、安心して過ごせるよう支援をしている施設である。日本では、まだ明確な制度はないが松伏町にこどもホスピス「にじこどもホスピス」がある。相談はどこの課にすればよいのか。

答 **すこやか子育て課長** 町にはこどもホスピスの施設運営を管轄する部署はない。すこやか子育て課に相談をすると、その内容により担当課に振り分けていく。たらい回しにはしない。

問 子宮頸がんを予防するためのHPVワクチンのキャッチアップ接種の実施期間が令和7年3月31日で終了となる。未接種の方に対してどのよ

うに周知をしていくのか。

答 **すこやか子育て課長** 令和6年4月頃に勧奨ハガキを送付する予定。無料接種が令和7年3月31日に終了すること、3回の接種が完了するまでに必要な期間や無料接種期間の終了後は自己負担が発生することなども記載したい。



介護をする学生



かわ かみ つとむ
川上 力 (公明党)

Q トイレトレーラー導入の実現を

A 課題を整理できるように検討する

問 被災地では、トイレが臭い・汚い・暗いとの声が多いなか、臭わない・きれい・明るいトイレとして、トイレトレーラーの活躍が報道されている。令和7年度が期限の緊急防災・減災事業債の活用などで、町の負担なくトイレトレーラー導入の実現を図るべきではないか。

答 **町長** トイレトレーラーに大変興味を持っている。越谷市にも見に行き話も聞いている。トイレトレーラーは衛生面からも大変に有効なものと思っており、いろいろな課題を整理できるように検討する。

問 ゼロカーボンシティの実現にEV車導入やカーシェアリングを行うことや、企業や町民からアイデアを提案してもらう取り組みができないのか。

答 **総務課長** EV車の導入は、環境負荷の低減や環境意識の普及啓発に繋がるだけでなく、総合防災訓練などの各種イベントや、災害時の避難所運営において電源設備として活用でき効果は大きい。EV車の導入時期にカーシェアリングも検討する。

答 **環境経済課長** アイデア募集は5市1町の「ゼロカーボンシティ推進協議会」に提案し検討する。

問 町の土地開発公社の必要性への認識と解散した場合の町への影響について

答 **企画財政課長** 町開発公社の所有地が処分完了すれば、公社の解散も検討すべきと考える。その際は公社への資本金、貸出金などは町に返還される。



被災地へ派遣されている越谷市のトイレトレーラー



すながわ きよとき
砂川 清時 (自民クラブ)

Q 移動スーパーの成果と今後の展開

A 販売場所が2か所追加

問 移動スーパーの成果は。

答 企画財政課長 移動スーパーによる買い物支援事業は、他市町と比べても好評である。「移動スーパーが来るようになって便利になった」、「近隣の方とお買い物ができる楽しい」などのご意見もあり、有益な事業であると認識している。

問 今後の展開は。

答 企画財政課長 地域の要望もあり、3月18日から販売場所が2か所（田島、築比地）追加された。町は、地域の意見、要望を伺い、買い物への不便感の解消につながるよう事業者と協働していく。

問 東埼玉道路・浦和野田線開通後の周辺町道整備は。

答 まちづくり整備課長 交通量の変化や車両の通行形態を見極めて、必要に応じて整備を検討する。町道の整備は、町の負担だけでなく国や県の補助金を活用して行うことが望ましいと考えている。

問 水道管やガス管理設工事に伴う道路の整備状況は。

答 まちづくり整備課長 仮復旧の町道の把握は、事

業者からの道路占用許可申請の受理により把握し、騒音・振動に関する苦情が年に数件程度ある。その対応は、まず町の職員が現地の状況確認を行い、道路占用工事の本復旧工事が完了している場合は、町において改善処置等を行う。本復旧が完了していない場合は、事業者に状況を報告し、速やかに改善するよう指導している。



新たに追加された移動販売（田島東エリア）



ます だ ひで お
増田 秀雄 (未来クラブ)

Q 投票率向上対策について

A 新たな投票率向上啓発活動を実施

問 投票率向上対策について。

答 総務課長 政治への関心が低い若者世代をターゲットとした選挙啓発を実施する必要があると考えていたので、埼玉県知事選挙では、新たな啓発活動として子育て世帯などを対象とした「期日前投票限定ガチャ」を実施し、一定の効果が得られたものと感じている。今後も、引き続き、投票率向上のための啓発活動を実施していく。

問 立地適正化計画策定の目的や効果について。

答 新市街地整備課長 この計画の目的は、行政や子育て支援、高齢者等福祉、医療、商業等の様々な都市機能がまとまって立地し、住民が徒歩や公共交通によりこれらにアクセスできるようコンパクトなまちづくりを目的とする。

計画を策定する効果は、わが国が抱える急激な人口減少と高齢化社会に対応した安心できる健康で快適な生活環境の実現や厳しい財政下でも持続可能な都市経営を行うことが可能となる。

問 小中学校の樹木管理対策の現状について。

答 教育総務課長 植栽されている樹木は、各学校の教職員や松伏町シルバー人材センターに委託し、剪定や消毒を行うとともに、倒木等の危険のある樹木は造園業者に委託して伐採を行うなどの管理をしている。しかし高木による問題の発生を未然に防ぐ為、効率的な管理方法を検討していく。



剪定された樹木（○印）松伏第二小学校



たぐち よしひろ
田口 義博 (自民クラブ)

Q 地域資源を生かした公共交通を

A 住民の意向に応える計画を策定

問 単に、移動の手段が公共交通でなく、より良いまちづくりを進めるためにも、地域資源を組み合わせることで町の価値が上がる。町の見解は。

答 企画財政課長 日常の通勤通学の利用者や観光目的、イベントでの来町者、また高齢化による地域の課題など、これらを地域資源と捉え、公共交通施策と共に地域の課題も解決に向かえば理想的であり、地域公共交通に対する価値も上がる。

問 地域公共交通に求められる役割と価値についての見解は。

答 企画財政課長 最も大きな役割は、交通手段の確保と考えている。今後は高齢者などの外出機会や健康増進などにも寄与する役割が求められ、公共交通の価値も今後高まってくる。

問 利用頻度の少ない方も近くに公共交通があることで安心感が生まれる。自治会や企業からの負担の在り方を求めるなどしなければ、存続は危ぶまれる。地域公共交通活性化協議会での議論、どのような内容で、その成果をいつから施策として実施

するのか。

答 企画財政課長 国の基本方針に基づき、松伏町にとって望ましい「地域公共交通計画」を検討する。協議会では町民へのアンケート調査や公共関連のビッグデータを用いて実際の人の動き方や町民の意向など調査把握し、利便性の高い持続可能な公共交通の在り方を新年度に策定する。



境町の自動運転バス



まつおか たかし
松岡 高志 (無所属町民会議)

Q 松伏町の地域防災力の向上を

A 地域の担い手の育成に努める

問 町は各地域の防災の担い手の育成にどう取り組んでいく考えか。

答 総務課長 災害が発生した場合、住民の皆様が的確に対処できるような基礎知識を身につけることを目的として、吉川松伏消防組合の協力の下、「松伏町防災リーダー認定講習会」を開催し、現在69名の方を防災リーダーと認定している。また、「埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員」講習受講への推薦など、地域の担い手の育成に努めている。

問 災害が起きたとき、自治会館等の集会施設がその地域の安心安全の拠点になる。救援物資等、自治会館に配布される仕組みはあるのか。

答 総務課長 在宅避難への救援物資の配布については、町から、もしくは指定避難所から、必要に応じて救援物資等々を自治会館、または集会所に配布することを想定している。

問 令和4年度の全国及び埼玉県の学力・学習状況調査結果の課題は国語の読解力不足であった。その

課題解決のためにどのような対策を講じたのか。

答 教育総務課長 特に国語を中心とし、全ての教科において読む活動の中で、主体的、対話的な活動を取り入れた授業改善や日常的に多くの本に触れさせる機会を確保し、語彙力を高めるための読書活動の推進に向け、今後も取り組んでいく。



松伏町防災訓練 (まつぶし緑の丘公園)



は せ がわ しん や
長谷川 真也 (未来クラブ)

Q 小・中学校の統廃合を問う

A 望ましい形を求めて、検討

問 小学校1校、中学校1校を減らした場合のメリット、デメリットを問う。

答 教育総務課長 メリット児童・生徒が多数集まることにより、多様な考えに触れ、認め合い、協力し、高め合える集団の形成、学校行事等の集団教育活動の活性化にもつながる。費用面では、光熱水費等の施設維持費のコストカットにつながる。デメリット学校は児童・生徒のための教育施設であるだけでなく、地域のコミュニティの核としての性格も有している。学区の範囲が広がることにより、学校、地域の関係の希薄化も懸念される。

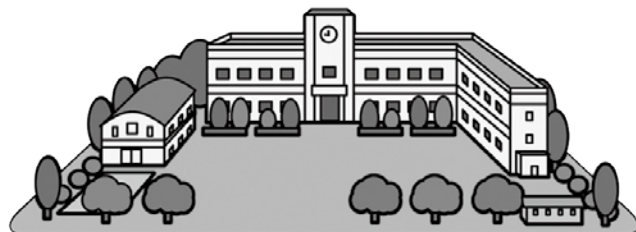
問 将来的な学校の統廃合について、教育長はどう考えているか。

答 教育長 小・中学校の統廃合については検討していく必要があると考えている。今年度中学校卒業予定生徒数は270人に対し、令和6年度小学校新入学予定児童数は約170人、5年後の令和11年度は約120人と、確実に少子化が進んでいる。

問 都市計画税の導入について、町の考えを問う。

答 企画財政課長 令和4年度に策定した第7次行政改革大綱において、都市計画税導入の検討を位置づけている。

答 町長 多様化、複雑化する町民ニーズへの対応の魅力ある財源だと思う。社会経済情勢等を踏まえて、慎重に検討してまいりたい。



たか の まさひろ
高野 祐大 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q BRT駅周辺に住宅開発は可能か

A 同じようにできる可能性はある

問 定時性、速達性のある交通システムは松伏町で初めて。道の駅に併設されたバスターミナルが松伏のBRTの駅となる。都市計画において住宅系の市街化区域に指定されるのは非常に難しい。BRTターミナルを県に駅として指定していただき、周辺を住居系の市街化区域にすることは可能か。

答 新市街地整備課長 BRTの駅周辺に、住宅を開発することができるかについては、農地転用において、駅周辺の土地利用に関して、農地区分が三種農地になる。鉄道駅の場合は、駅の周辺は、土地利用ができるという形になっている。農地区分からしても、同じようにできる可能性はある。

問 BRTを高度なBRTとして整備ができれば、駅と同じ条件で都市開発ができる。町長はそうした勉強をして感度高く情報収集しないと。町長はBRTに関して、こういった研究されているか。

答 町長 私はこの研究会の中に入っていて、勉強している。役所の人間もしっかりと研究している。

問 役所の人間に勉強させておいて、自分が勉強しな

いというのはよくない。ぜひご自身が勉強を。次に、BRTのような大規模インフラの実現まで、町が持続可能である必要がある。シェアサイクルは人口流出防止が期待される。どう評価してるか。

答 企画財政課長 草加市、八潮市でシェアサイクル事業者と実証実験が開始されている。



埼玉県「自動運転専用道路の整備と新たな交通システムの導入及び道路整備に関する要望について」より引用



よし だ しゅんいち
吉田 俊一（日本共産党）

Q 天神団地の通り抜け車への対策を

A 野田橋の渋滞解消を働きかける

問 玄関先を朝の通勤時には200台以上の車両が通り抜けている。深刻な状況で、自治会の方が町に相談に行かれている。どのような対応をしたのか。

答 総務課長 令和4年5月に要望書を受け、町は天神自治会、規制を管轄している吉川警察、県道の管理者・越谷県土事務所、隣接している吉川市と再三にわたる協議を重ねた。現在まで、徐行を促す路面標示、啓発看板の設置、通過車両の速度を抑制するラバーポールの設置など実施。ご要望のとおり実施できないことへの代替案を講じてきた。

問 現状はまだ解決していない。今後の対策は。

答 総務課長 自治会のみなさんから引き続きご相談やご要望があった際には、必要に応じて関係機関と調整を図っていきたい。

問 野田橋の交差点改良や道路改良によって天神地区の侵入車両を減らせないのか。浦和野田線や東埼玉道路の建設、野田橋の渋滞解消への見通しは。

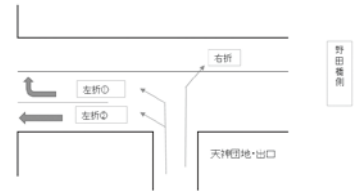
答 まちづくり整備課長 野田橋交差点を含む県道改

良工事はこの1月から令和7年3月までの予定。天神地区の車両問題への影響はないだろう。

答 新市街地整備課長 浦和野田線建設促進期成同盟

会は千葉県知事に野田橋の4車線化を毎年要望。

関連する野田橋を渡った場所の道路対策で、9月千葉県議会で質問があり、前向きな答弁があったと伺っている。足並みをそろえ、要望をしていく。



調査日 2024年2月29日(木) 車両台数(バイク含む)
6:30-8:50 2時間20分

時間帯	通り抜け 合計	左折①	左折②	左折合計	右折
6:30-6:59	20	9	6	15	5
7:00-7:29	67	41	16	57	10
7:30-7:59	73	43	8	51	22
8:00-8:29	82	43	13	56	26
8:30-8:49	20	12	5	17	3
合計	262	148	48	196	66
%	100	56%	18%	75%	25%



ひらの ちほ
平野 千穂（日本共産党）

Q 災害備蓄品の不足数拡充の考えは

A 引き続き備蓄品の整備に努めたい

問 16か所の指定避難所の収容人数に対して、段ボールベット、テントなどの数は足りているのか。災害備蓄品の拡充は、どう進めていく考えなのか。

答 総務課長 地域防災計画で示している避難想定数1134人を基に試算すると、段ボールベッドなどの寝具は約40%、授乳室などで使用することを想定しているテントは約30%の整備率。引き続き既存の予算の範囲の中で備蓄品の整備に努め、活用できる国・県の補助制度が確認された場合には、速やかな申請や予算確保に努めたい。

問 長野県安曇野市では災害時の在宅避難への備えの拡充を図るために、住民が防災用品を購入した場合、上限2万円の補助金制度がある。町でも検討ができないか。

答 総務課長 現在町では災害時には自分の身は自分で守る自助の観点から各家庭での防災用品等の備蓄について啓発をしている。従って現時点では防災用品購入補助金制度の新設は検討していない。

問 不登校の子どもたちが増加する中で、余暇教室などを活用した学校内の居場所づくりを実施している自治体が増えている。町の今後の見通しは。

答 教育総務課長

中学校同様に小学校にも、学校内の居場所設置に向け、令和6年度は松伏小学校にモデルクラスを設置し、7年度以降の正式設置に向けて課題や問題点の整理を進める。



避難所開設訓練(1月28日)での段ボールベッド組立の様子